

ICTの活用で 社会を便利に

情報流通行政局情報流通振興課
情報流通高度化推進室海外展開係長

赤坂 勇磨

AKASAKA Yuma

平成23年 4月 総務省採用

情報流通行政局放送政策課

平成24年 8月 大臣官房総務課

平成26年 8月 情報通信国際戦略局情報通信政策課

平成28年 10月 情報流通行政局情報流通振興課

情報流通高度化推進室海外展開係長心得

平成29年 7月 現職



Question & Answer

Q. 総務省の魅力は？

A. 総務省の魅力はフラットに議論できる環境だと思います。ICT分野は技術革新が早く、内容によっては若手職員の方が詳しいこともあり、上司や事業者とも積極的に議論を交わすことができます。また、上司も部下の意見をフラットに聞いてくれることが多く、良い施策については立場を問わず採用してくれる環境があります。立場関係なく議論出来る環境は大きな魅力だと思います。

Q. どんな仕事に挑戦したい？

A. 総務省では、地方自治体等に出向し勤務している職員がおります。出向は総務省の外から総務省を見直し、国民の目から総務省がどう見えているのかを把握出来る貴重な機会です。行政官として視野を広げるためにも、総務省外の業務にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

■医療・健康分野へのICT(情報通信技術)の利活用について

私の所属する情報流通高度化推進室では、医療・介護・健康分野におけるICTの利活用を推進しています。私はその中でも①AI(人工知能)を活用し、自治体に最適な健康指導政策を提案するシステムの開発、②電子カルテや医療画像等、医療に関する様々な情報をクラウドに安全に保存するためのセキュリティ基準(ガイドライン)の策定、③日本の最先端の医療ICTの海外展開などを担当しています。

特にAIは、ここ数年急速に注目を集めており、今後、医療・健康分野にどのように利活用していくかが課題となっています。そのため私は、医療・健康分野で蓄積されている様々な情報をAIで解析することで、自治体の健康づくり政策等にどう活用できるかという問題意識を持ちながら、日々、医療関係者、研究者及び事業者等と調整を行っています。

■ICTを活用し、新たな社会へ

就活生の皆さんはICTと聞くと何を思い浮かべますか？例えば、日頃皆さんがお使いのスマホやタブレットはICTを最も身近に感じられるモノかもしれません。今から8年前、皆さんが中学生の頃の2010年は、スマホの世帯普及率は9.7%(総務省「情報通信白書」)でした。皆さんもその頃はガラケーと呼ばれる折りたたみ型の携帯電話を使っていた方が多いのではと思います。それが現在では71.8%と急激に普及しています。スマホを例にしてみましたが、ICT分野はとても技術革新が早いことが特徴です。ウェアラブル端末、VR機器、スマート家電等のICTを活用した新たな製品は毎年のように発売されています。総務省では、このような技術革新の早いICTを活用することで、社会が抱える様々な課題を解決し、新たな社会基盤を作っていくための政策を進めています。政策を進めて行く中では、関係省庁や事業者との調整等大変なこともありますが、それ以上に大きなやりがいを感じることができる職場だと思います。



Private Life

休みの日は妻や学生時代の友人と遊んだり、旅行に出かけたりすることが多いです。また、職場の同期と遊ぶこともあります。この写真は、同期の結婚祝い旅行の際に撮った写真です。

